

サハリン-1プロジェクトにおける評価井掘削結果について

平成 12 年 9 月 28 日

帝国石油株式会社

当社が株主として参画している、サハリン石油ガス開発株式会社（本社：東京都千代田区、社長：中村俊彦）は、サハリン島北東部海域における石油・天然ガスの探鉱開発プロジェクト（サハリン-1 プロジェクト）を実施していますが、今般、チャイウオ構造に掘削した評価井で、大規模な量が見込まれる石油の集積を確認しました。

本評価井（チャイウオ 6 号井）は、ユジノサハリンスクの北方約 600km に位置するチャイウオ構造（1979 年に発見）の西翼部に当たる水深 15m の海域に掘削されたもので、掘削深度は 3,075m です。掘削の結果、油層（中新統）を確認し、生産テストで日量 6,000 バレルの出油が得られました。また、同社、エクソンモービル社及びロシア側で構成される技術チームにより評価した結果、確認された油層は、チャイウオ構造の西翼部において、約 104m もの厚さを有するものと見込まれています。

サハリン-1 プロジェクトは、世界有数の石油・ガス開発プロジェクトとなる可能性を有しており、現在、今後の開発の検討作業を行うとともに、プロジェクトを前進させるために必要なロシア政府の各種承認事項に関する協議などが進められているところです。

同社は、サハリン-1 プロジェクトの実施主体である国際コンソーシアムに 30% の権益で参加していますが、共同事業者として、エクソンモービル社の子会社であるエクソンネフテガス社がオペレーターとして 30% の権益を保有しているほか、サハリンモルネフガス・シェルフ社（ロシア）が 23%、ロスネフテ・サハリン社（ロシア）が 17% の権益をそれぞれ保有しています。

プロジェクト概要

サハリン-1 プロジェクト

(1) 名称 (生産物分与契約)

(2) 契約形態

(3) 事業主体(コンソーシアム)と権益比率

Exxon Neftegaz Ltd.	30%(オペレーター)
(エクソンモービル社(米)の子会社)	
サハリン石油ガス開発(株)	30%
Rosneft-Sakhalin	17%
(国営企業ロスネフテ(露)の子会社)	

	Sakhalinmorneftegas-Shelf	23%
	(サハリン海洋石油ガス社(露)の子会社)	
(4) 対象鉱区	サハリン島北部東岸の3鉱区 (サハリン島北東沖合約7~35 km)	
	チャイウオ(Chayvo)	面積 約 180k m ²
	オドプト(Odoptu)	面積 約 330k m ²
	アルクトン・ダギ(Arktun/Dagi)	面積 約 660k m ²
(5) 探鉱の状況	掘削7坑	平成8(1996)年 1坑 平成9(1997)年 3坑 平成10(1998)年 2坑 平成12(2000)年 1坑
(6) 開発計画	現在進めている探鉱作業に基づく埋蔵量の評価作業結果等を踏まえて、今後の開発計画を検討する予定。	

以上

サハリン北東部陸棚鉦区位置図

